

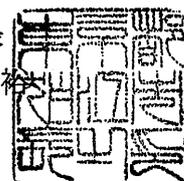


狛都計発第 100420 号

平成 19 年 1 月 4 日

東京都知事  
石原 慎太郎 様

狛江市長  
矢野 裕



東京都市計画道路の変更に係る意見照会について (回答)

平成 18 年 5 月 29 日付け 18 都市基街第 38 号により照会のありました標記の件について、下記のとおり回答いたします。

記

東京外郭環状道路は、都心から約 15km の圏域で放射方向の高速道路と環状に連絡する延長約 85km の自動車専用道路です。計画路線の世田谷区宇奈根から練馬区大泉町の区間は昭和 41 年に嵩上げ式の構造として都市計画決定されましたが現在まで事業化に至っていません。今回の都市計画変更により狛江市域における区間はすべて、大深度地下構造による通過区間となります。

嵩上げ式から地下式へと構造が大きく変更されていることから狛江市の意見としては、次の事項について要望いたします。

東京外郭環状道路の都市計画変更に対する狛江市長意見

- 1 大深度トンネルが地下水等の環境に及ぼす影響や地震などの災害や事故発生時の安全性について十分な検討を行い、市民及び沿線住民への情報提供を要望いたします。
- 2 PI 会議のしくみをさらに充実させるなど、十分に合意形成を図られることを要望いたします。
- 3 市内の通過交通も含めて、将来の交通量予測などは十分に精査して正確なデータ作成を行うよう求めます。見込み違いにより判断を誤るなど将来の無用な負担を招かぬよう今後も慎重に対処することを要望いたします。